

アステラスメールマガジンです。

今回は、2月26日に開催したサステナビリティ・ミーティング2025および最近のニュースについてお知らせします。

IRミニトピックス

《IR関連情報》

■2月26日 サステナビリティ・ミーティング2025を開催しました

5回目となる本年は、アステラスの企業活動によって生み出される社会的インパクトの可視化、経営計画2021で掲げてきた組織健全性目標の達成に向けた取り組み、取締役会の機能強化などを紹介しました。社外取締役も登壇し、社外ステークホルダーと活発な質疑応答が行われました。

資料および説明会動画を当社ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

[資料およびオンデマンド動画へのリンク](#)

なお、今回の発表内容につながる、これまでのアステラスの非財務の取り組みについては統合報告書2025をご覧ください。

[統合報告書2025へのリンク](#)

■2月24日 アステラス製薬とVir Biotechnology 前立腺がんを対象としたPSMA標的PRO-XTEN二重マスキングT細胞エンゲージャーVIR-5500の開発・商業化に関する戦略的提携

米国のバイオ医薬品企業であるVir Biotechnology, Inc.と、PSMA（前立腺特異的膜抗原）を標的としたPRO-XTEN二重マスキングCD3* T細胞エンゲージャーVIR-5500の開発・商業化に関するグローバルの戦略的提携契約を締結しました。本契約により、VIR-5500の開発を加速し、アステラスのがん領域のパイプラインと、前立腺がんにおけるリーダーシップをさらに強化します。

* CD3：免疫細胞の一種であるT細胞の表面に存在する分子で、T細胞が異物を認識し、免疫反応を開始するために重要な役割を担っている

[プレスリリースへのリンク](#)

■3月2日 抗体-薬物複合体PADCEV（エンホルツマブ ベドチン）シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱がんを対象とした第III相EV-304試験の結果を2026年米国臨床腫瘍学会（ASCO GU）で発表

2026年米国臨床腫瘍学会（ASCO GU）において、Pfizer Inc.と共同で開発を進めている抗体-薬物複合体PADCEV（一般名：エンホルツマブ ベドチン（遺伝子組換え））とMerck & Co., Inc.の抗PD-1抗体Keytruda（一般名：ペムブロリズマブ（遺伝子組換え））の併用療法について、シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱がん（MIBC）患者を対象とした第III相EV-304試験における良好

な結果を発表しました。EV-303試験に続くEV-304試験の良好な結果は、シスプラチン適応の有無にかかわらず、本併用療法がMIBC患者における術前術後の補助療法として、無イベント生存期間および全生存期間を改善した、初めての白金製剤を用いない治療法であることを示す重要なエビデンスとなることが期待されます。

EV-304試験の結果の詳細は、ASCO GUで発表され（抄録番号 #LBA630）、プレスプログラムにおいても取り上げられました。本試験の結果については、各国の規制当局と承認申請の可能性を協議する予定です。

[プレスリリースへのリンク](#)

120文字のアステラス

否定しない仕事

人間とはまだまだ未知の存在。

だからくすりの研究開発は、

試してみるすべてのことに

可能性が秘められている。

どんなアイデアも否定しない。

まだないくすりをつくる仕事は、

すべての可能性を

否定しない仕事。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

3月に入り、会社近くの早咲きの桜が早くも満開を迎えており、通勤者だけではなく、海外からの観光客の方々の目も楽しませてくれています。

本日3月3日は桃の節句、今晚は満月で、20時から21時ごろの見やすい時間帯に全国で皆既月食が起きます。日本が新暦を使い始めた1873年以降、桃の節句と皆既月食が重なるのは初めてのことだそうですが、関東では降雪予報が出るなど、あいにくの天気となる場所が多そうです。西日本の一部では晴れ間が戻って観測のチャンスがあるようなので、お住まいの方は夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。

なお、次回の皆既月食は3年後の2029年1月1日、新年の幕開けとともに月食が始まる、これもまた稀なタイミングでの観測となるそうです。

みなさまの声を聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケートを実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートフォームはこちら。

<https://forms.office.com/r/0PeK6tvvg61>

アステラスメールマガジンNo.128 (2026/3/3)

◆配信停止は下記から↓

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=bm65634vc&task=cancel>

◆発信元 アステラス製薬株式会社 (編集: 広報 IR)

お問い合わせ先: <https://www.astellas.com/jp/form/individual-investors-contact>

